



第 5 回宇都宮市水道料金等審議会

～新たな下水道使用料体系について～

- 1 本日の審議内容
- 2 現行の下水道使用料制度
- 3 下水道使用料の算定方法
- 4 使用料改定の水準
- 5 新たな使用料体系の検討
- 6 まとめ

1 本日の審議内容

第4回審議会

- ・ 今後の財政見通しと使用料改定の水準

計画に基づく収支予測の確認

第5回審議会

- ・ 新使用料体系（案）の検討

新たな使用料のあり方について
の議論

第6回審議会

- ・ 新使用料体系（案）の検討

使用料体系の決定
答申（案）の作成

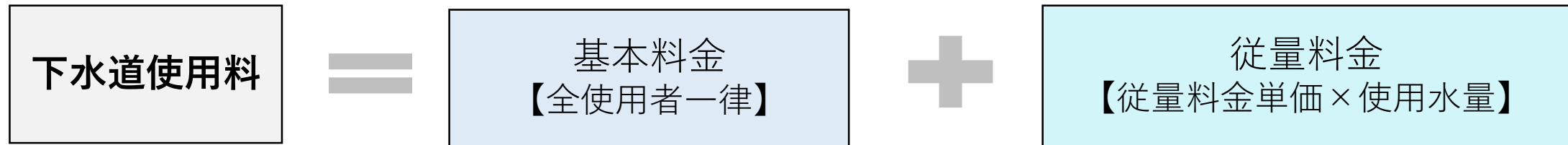
※次回以降の内容は変更となる可能性がある。

2 現行の下水道使用料制度

■本市の下水道使用料制度

- ・本市の下水道使用料は、基本料金と使用水量に応じた従量料金で構成（二部使用料制）
- ・従量料金は累進制を採用している。

【現行の使用料体系】

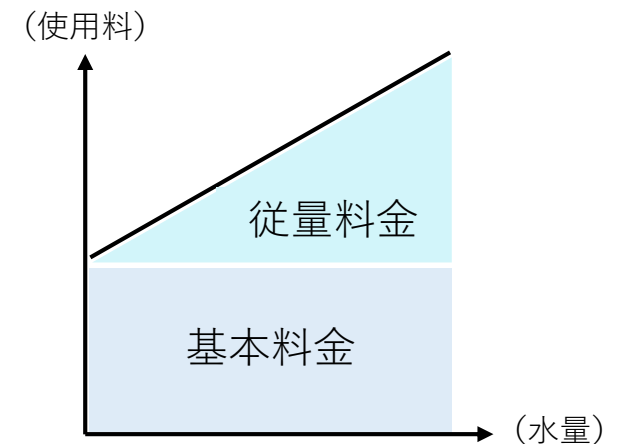


基本料金

- ・使用水量に関係なく、下水道が利用できる状態を維持するために発生する料金

従量料金

- ・使用した水量に応じて発生する料金
- ・使用した水量が多くなるほど従量料金単価が高くなる「累進制」を採用



2 現行の下水道使用料制度

■現行の料金表

【下水道使用料の料金表（1 か月・税抜）】

使用水量に応じた従量料金区分
累進制の採用

基 本 料 金	従量料金						
	0~10m ³	11~20m ³	21~50m ³	51~100m ³	101~500m ³	501~1000m ³	1001m ³ ~
1,100円	0円	135円	160円	180円	200円	220円	240円

少量使用者への配慮（基本水量~10m³）

一般的な家庭（1月の使用水量20m³）の1月あたりの下水道使用料（税抜）

下水道使用料
2, 4 5 0円

=

基本料金
1, 1 0 0円

+

従量料金
1, 3 5 0円

0~10m³ 0円
11~20m³ 1,350円（135円×10m³）

2 現行の下水道使用料制度

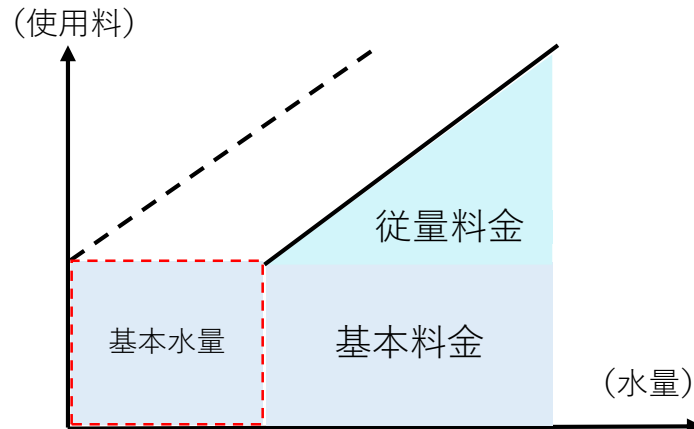
■基本水量について

- 基本水量の設定は、「下水道使用料算定の基本的考え方（日本下水道協会）」において、「各地方公共団体における生活排水の実態等を踏まえて検討する必要がある」とされており、井戸水の使用状況などを考慮して設定することになるが、本市においては公共下水道区域内のほとんどの世帯において水道が整備されている。
- 市民負担の変化に配慮した上で、基本水量の必要性については、新使用料案を作成する中で検討していく。

基本水量とは

- 基本料金に含まれ、従量料金を支払わずに使用できる一定の水量

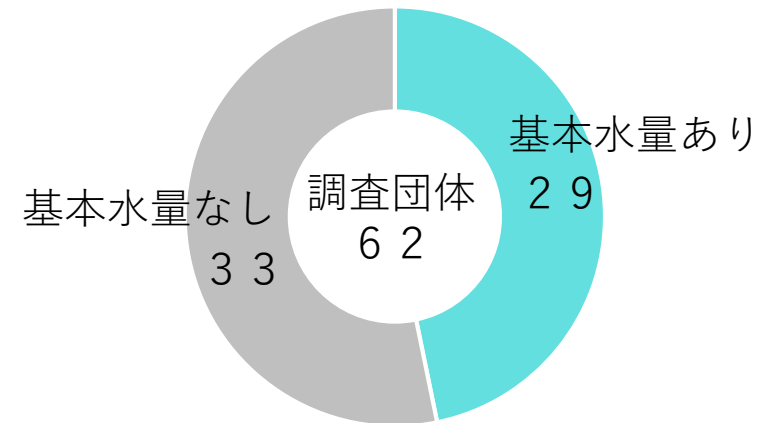
【基本水量の付与イメージ】



基本水量の目的

- 「公衆衛生の向上，生活環境の改善」の観点から水使用を促す
- 基本水量部分にかかる使用料の低廉化を図る

【基本水量にかかる他市（中核市）照会結果】



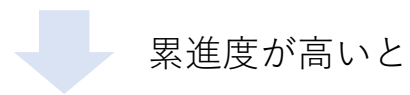
2 現行の下水道使用料制度

■累進度について

- ・他事業体と比較すると、本市の累進度は平均より少し低い状況である。
- ・水道のように口径別の料金を設定できないため、排水需要の実態等を適切に勘案し、使用者間の負担の公平性の観点にも留意した上で、累進度を検討していく。

累進度とは

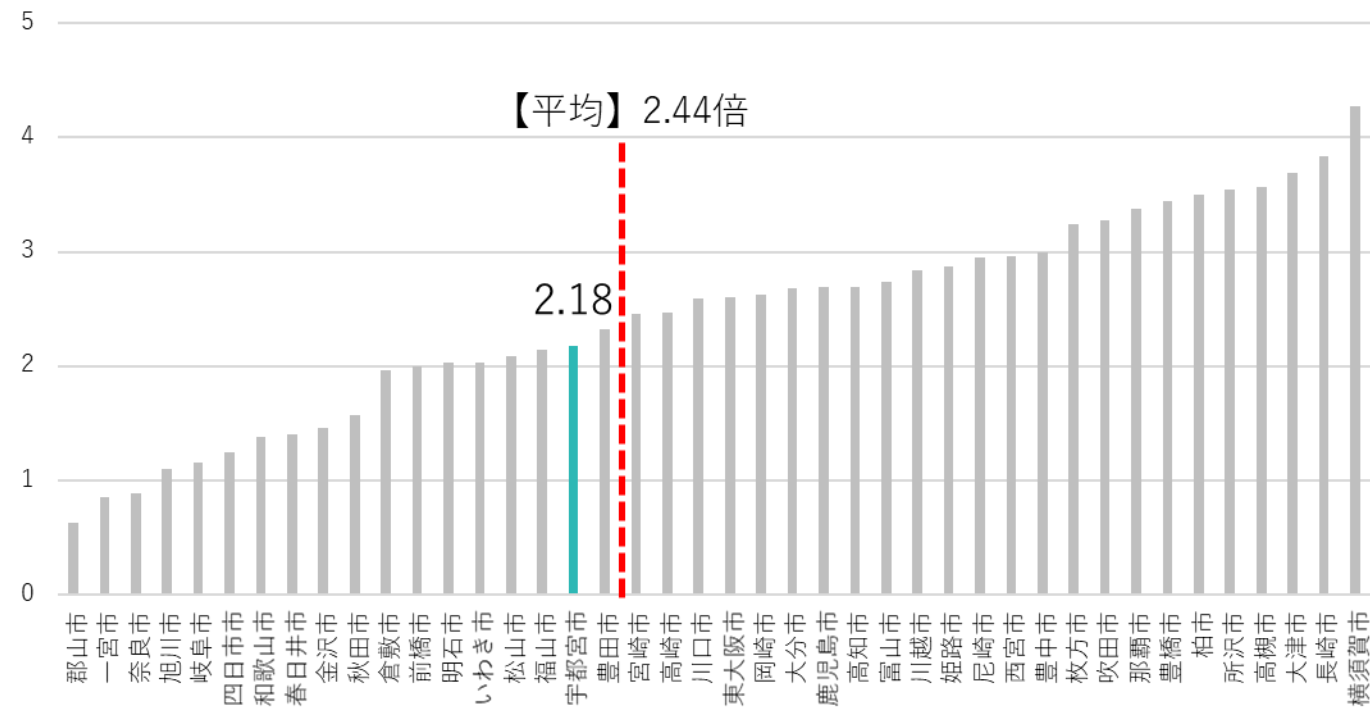
- ・累進使用料制における単価の上昇度合いを示す
- ・数値が高いと単価の上昇が急激で、低いと単価の上昇が緩やかとなる



- ：一般家庭の料金負担を抑えることが出来る
水道の口径別料金のように、使用する水量に応じて使用料を設定できる
- ×：大口使用者の使用量に左右され、経営に影響が生じる

【累進度比較】

(倍) 累進度：最大水量区分単価 ÷ 10 m³使用時の1 m³あたりの使用料単価



3 下水道使用料の算定方法

■下水道使用料の決定原則

地方公営企業法第21条第2項

前項の料金は、公正妥当なものでなければならない、かつ、能率的な経営の下における適正な原価を基礎とし、地方公営企業の健全な運営を確保することができる ものでなければならない。

下水道法第20条第2項

使用料は、次の原則によって定めなければならない。

- 一 下水の量及び水質その他使用者の使用の態様に応じて妥当なものであること。
- 二 能率的な管理の下における適正な原価をこえないものであること。
- 三 定率又は定額をもって明確に定められていること。
- 四 特定の使用者に対し不当な差別的取扱をするものでないこと。

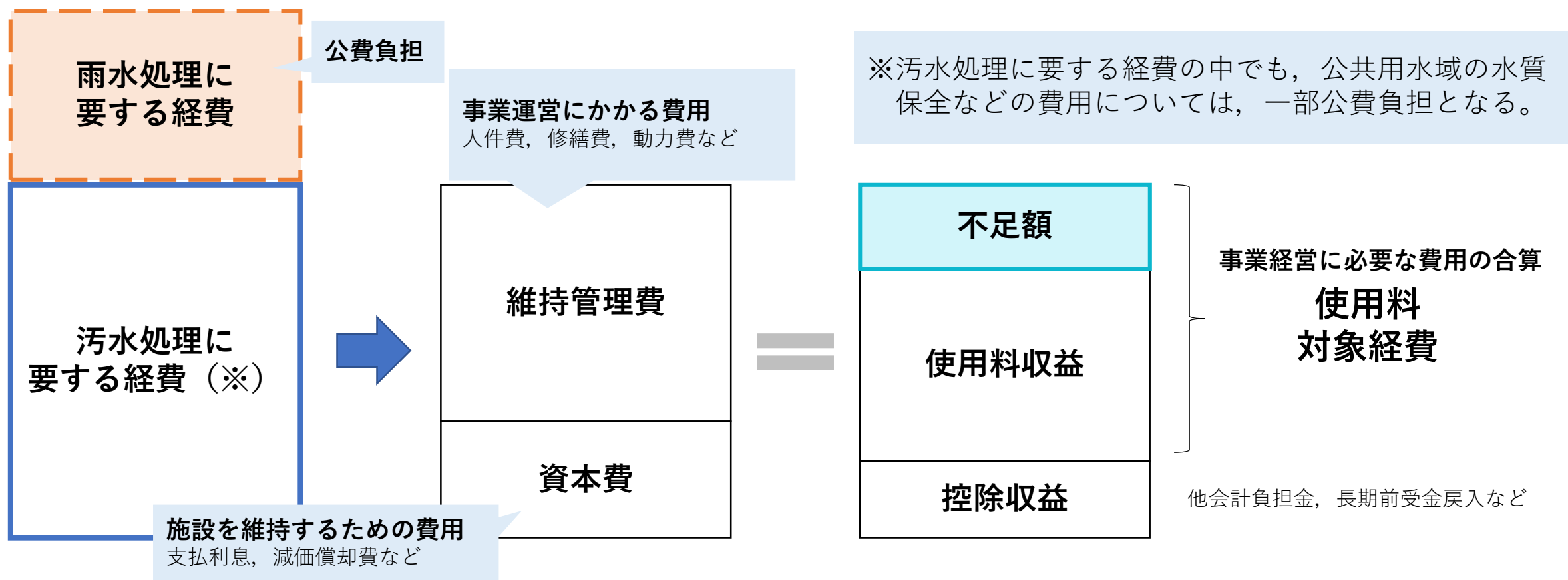
下水道法の逐条解説にて、

- ・雨水の排除による公共下水道の使用については、使用料を課さないこと
- ・水道の使用水量はすべて下水道に排除されるものと見なしてよいとすることとされている。

3 下水道使用料の算定方法

■使用料対象経費

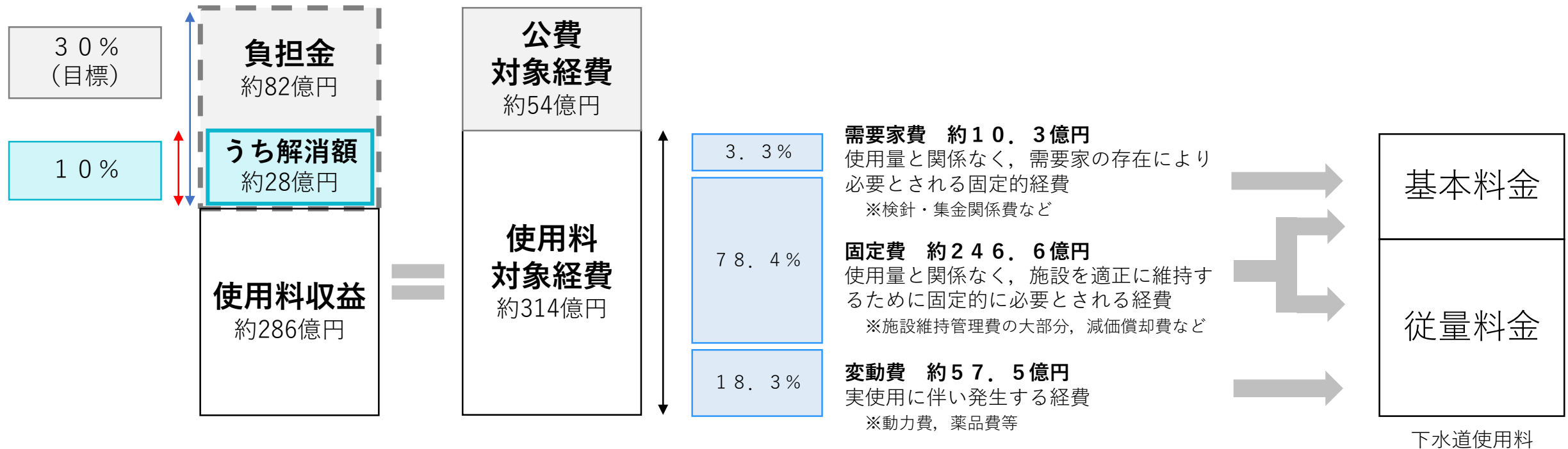
- ・ 下水道使用料の算定にあたっては、費用の総額から、雨水処理に要する経費を控除し、使用料で賄うべき経費である「使用料対象経費」を算出する必要がある。



3 下水道使用料の算定方法

■使用料対象経費

- ・ 下水道事業の経営に必要な経費は，下水道使用料収入で賄う「独立採算」が基本
- ・ 使用料対象経費を性質ごとに分解し，基本料金と従量料金へ配分していく。



3 下水道使用料の算定方法

■使用料算定期間

- ・ 使用料対象経費の検討にあたって使用料算定期間を設定する必要がある。
- ・ 今回の検討では、令和8年度から令和11年度（4年間）を使用料算定期間としている。



【（日本下水道協会）下水道使用料算定の基本的考え方】

- ・ 算定期間は、概ね将来の3年から5年を基準とする。
- ・ 下水道使用料は、日常生活に密着した公共料金の性格から、短期間に変動することは望ましくなく、できるだけ安定性を保つことが望まれる。
- ・ 一方で、余りにも長期の算定期間をとることは、需要の動向等の不確定要素を多く含み、予測の確実性を失うことになるため、適当ではない。
- ・ 定期的に使用料体系の見直しの必要性の検討を行うことが重要である。

■本市の下水道使用料の変遷

- ・令和8年10月の改定は、消費税改定に伴う改定を除くと、平成8年7月以来、約30年ぶりの増額改定となる。
- ・地方公営企業法を適用してからは初めての改定となる。

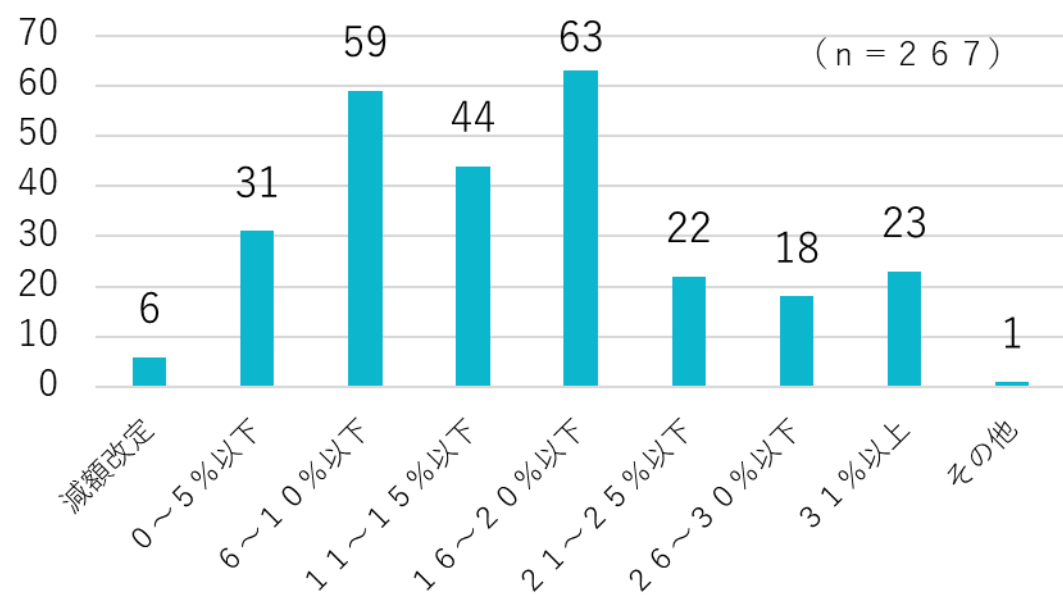
改定適用日	(平均) 改定率	主な要因
平成4年10月1日	49.76%	・平成12年度に使用料対象経費の100%回収を目標 ・概ね3年を目途に見直すこととした
平成8年7月1日	30.24%	・平成4年の答申を受け、2回目の改定
平成22年4月1日	—	・上河内地域の料金を宇都宮市の料金に統一
平成26年4月1日	—	・消費税改定（8%）に伴う改定
令和元年10月1日	—	・消費税改定（10%）に伴う改定

4 使用料改定の水準

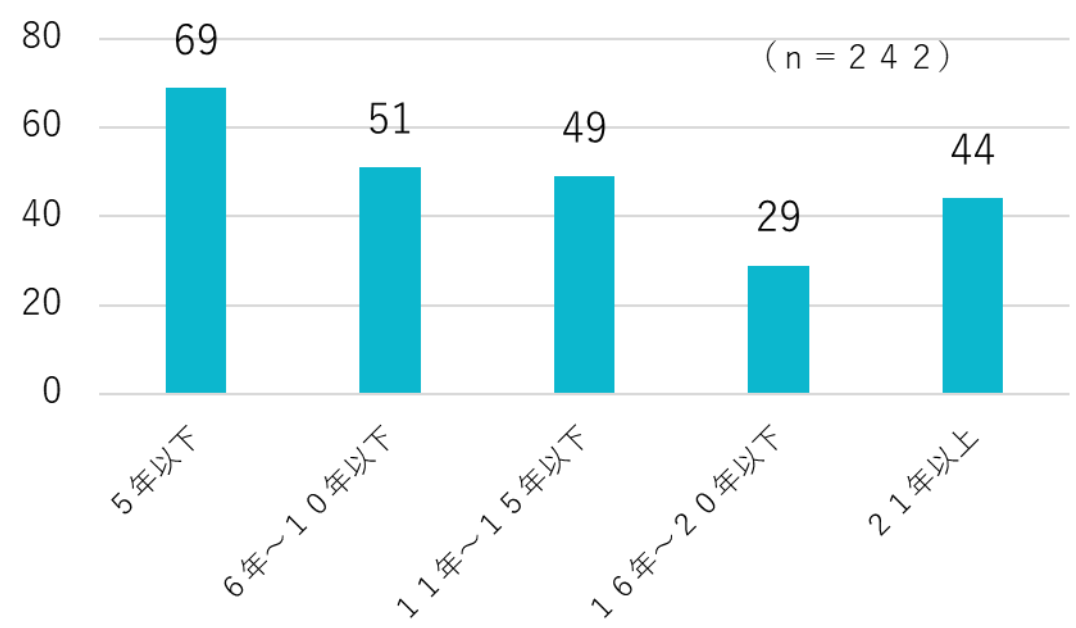
■他事業体の使用料改定の状況

- ・下水道使用料改定に関するアンケート調査（調査時点令和6年7月：日本下水道協会）によると、近年下水道使用料を改定した事業体における改定率，前回改定から今回改定までの期間は以下のとおり。

【下水道使用料を改定した事業体数（改定率別）】



【前回改定から今回改定までの期間】



※ R 6. 1 2 下水道使用料改定に関するアンケート調査結果（日本下水道協会） H 3 1 年 4 月以降に使用料改定を実施した事業体の回答

■他事業体の使用料改定の状況

・類似都市のうち、本市と人口密度が近い団体の下水道使用料改定の状況（予定を含む）は以下のとおり。

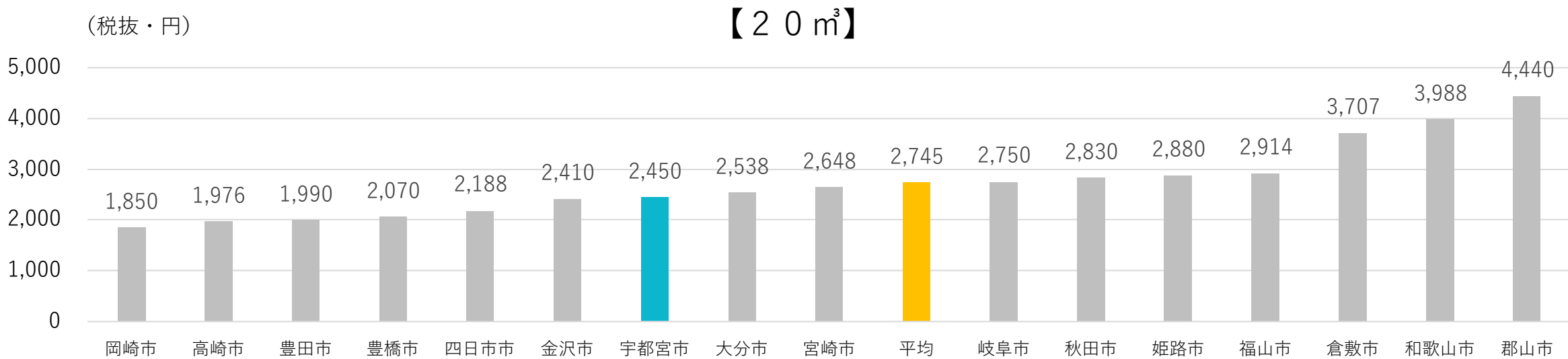
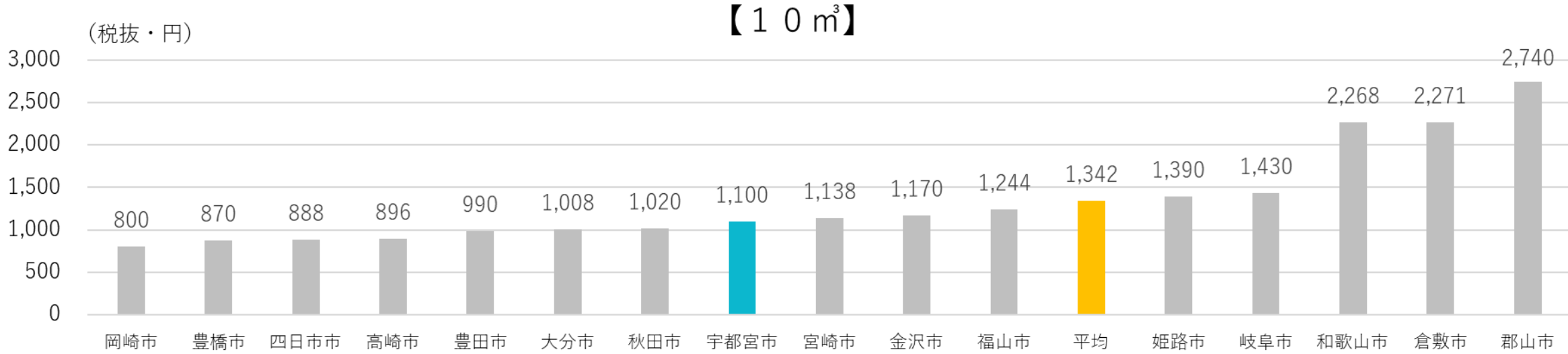
	事業体名	平均改定率	改定時期	前回改定からの期間	人口密度 (現在処理区域内人口/ 処理区域面積 (ha))
1	福山市	-	R 9 年度	1 3 年	4 6 . 8 3
2	豊田市	6 . 2 5 %	R 7 . 4	2 4 年	5 7 . 4 5
3	岐阜市	9 . 9 1 %	R 6 . 8	4 年	4 6 . 8 5
4	豊橋市	1 5 . 5 7 %	H 3 1 . 4	2 3 年	5 5 . 8 3
5	姫路市	1 5 . 8 %	R 7 . 4	8 年	4 5 . 0 4
6	宮崎市	1 9 . 7 1 %	R 7 . 4	1 3 年	4 6 . 7 6

本市の人口密度：4 8 . 8 8 %

※類似都市（人口30万人以上の都市）のうち、人口密度（現在処理区域人口/処理区域面積）が本市と近く、使用料改定にかかる情報がある事業体
※H 3 1 . 4 以降の料使用料定の状況をHP情報などをもとに本市独自に調査したもの

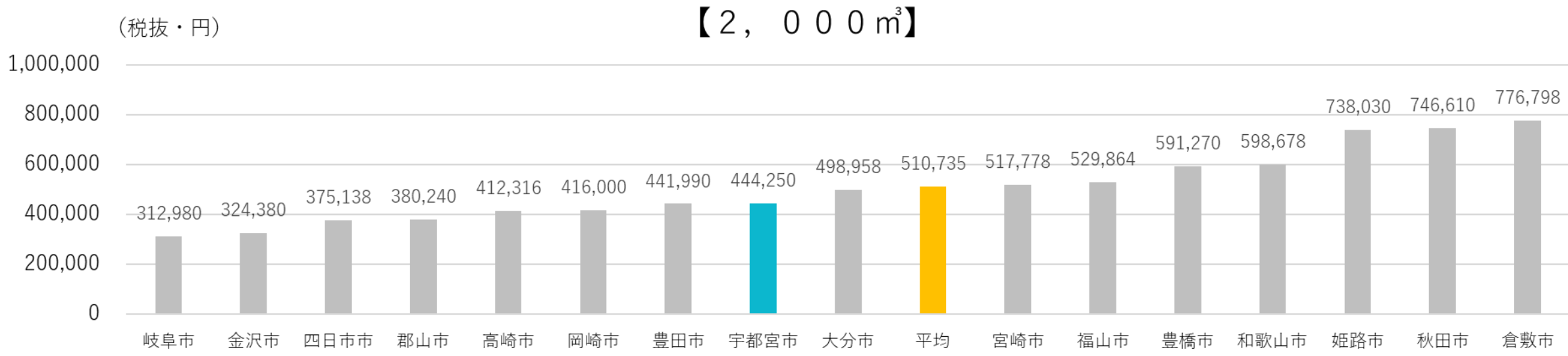
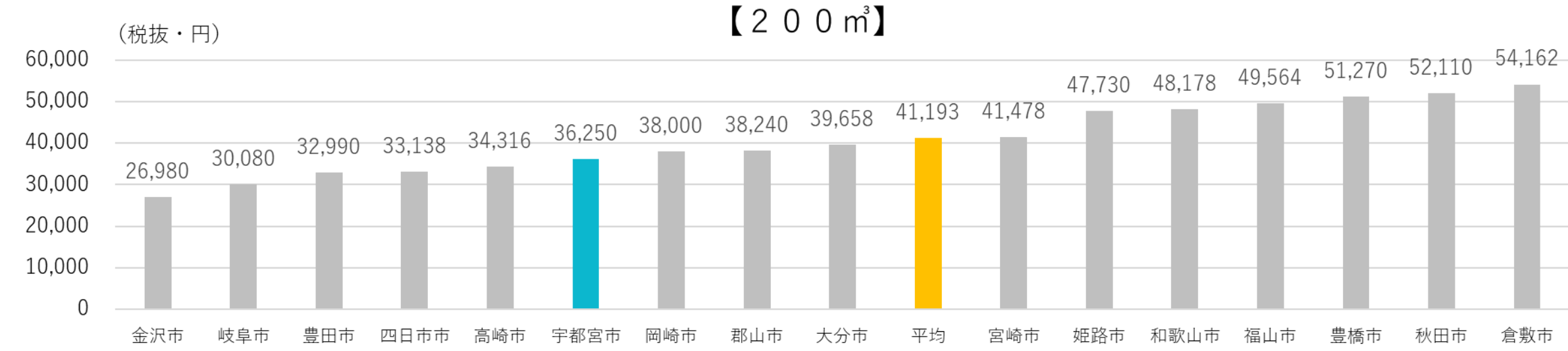
4 使用料改定の水準

■ 現行使用料の水準（類似都市比較）



4 使用料改定の水準

■ 現行使用料の水準（類似都市比較）



5 新たな使用料体系の検討

■使用料体系案の概要

- ・使用料収入で確保すべき額を314億円（平均改定率10％）と設定し、以下のパターンで新たな使用料体系の検討を行う。

	概 要	特 徴
A 案	・ 現行料金表に平均改定率を乗じた体系	・ 現行料金体系を維持し、少量使用者へ配慮 ・ 大口使用者の使用量の影響を受けやすい
B 案	・ 「下水道使用料算定の基本的考え方」を準拠しつつ、少量使用者に配慮した体系	・ 使用者割合の多い10m ³ の改定率を抑えた
C 案	・ 「下水道使用料算定の基本的考え方」を準拠しつつ、累進度を緩和した体系	・ 累進度の緩和により、大口利用者にも配慮

5 新たな使用料体系の検討

(算定基礎) 「下水道使用料算定の基本的考え方」に基づく使用料体系

- ・ 基本水量を廃止，水道にあわせて「6～10 m³」の水量区分を新設
- ・ 使用実績に基づき従量料金単価を算出

【下水道料金表（1か月・税抜）】

【現行料金表】

累進度：2.18

基本料金	従量料金							
	0～5	6～10	11～20	21～50	51～100	101～500	500～1,000	1,001～
1,100円	0円	0円	135円	160円	180円	200円	220円	240円

【算定基礎】

累進度：1.12

基本料金	従量料金							
	0～5	6～10	11～20	21～50	51～100	101～500	500～1,000	1,001～
844円	108.43円	109.79円	111.10円	113.35円	120.01円	144.89円	198.45円	216.49円



5 新たな使用料体系の検討

(算定基礎) 「下水道使用料算定の基本的考え方」に基づく使用料体系

使用料比較 (公共下水道)

水量	現行使用料	算定基礎	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,387円	+287円	26.1%
10m ³	1,100円	1,936円	+836円	76.0%
20m ³	2,450円	3,047円	+597円	24.3%
30m ³	4,050円	4,180円	+130円	3.2%
50m ³	7,250円	6,447円	▲803円	▲11.1%
100m ³	16,250円	12,448円	▲3,802円	▲23.4%
300m ³	56,250円	41,426円	▲14,824円	▲26.4%
500m ³	96,250円	70,404円	▲25,846円	▲26.9%
1,000m ³	206,250円	169,629円	▲36,621円	▲17.8%
2,000m ³	446,250円	386,119円	▲60,131円	▲13.5%

使用料比較 (地域下水処理)

水量	現行使用料	算定基礎	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,387円	+287円	26.1%
10m ³	1,100円	1,936円	+836円	76.0%
20m ³	2,400円	3,047円	+647円	26.9%
30m ³	3,800円	4,180円	+380円	10.0%
50m ³	6,600円	6,447円	▲153円	▲2.3%
100m ³	14,100円	12,448円	▲1,652円	▲11.7%
300m ³	46,100円	41,426円	▲4,674円	▲10.1%
500m ³	78,100円	70,404円	▲7,696円	▲9.9%
1,000m ³	163,100円	169,629円	+6,529円	4.0%
2,000m ³	343,100円	386,119円	+43,019円	12.5%

5 新たな使用料体系の検討



■A案：現行料金表に平均改定率を乗じた体系

- ・ 現行料金表の基本料金及び従量料金に一律平均改定率（10％）を乗じたもの。
- ・ 基本水量は維持（10 m³）しており，累進度も変化しない。

【下水道料金表（1か月・税抜）】

【現行料金表】

累進度：2.18

基本料金	従量料金						
	0～10	11～20	21～50	51～100	101～500	500～1,000	1,001～
1,100円	0円	135円	160円	180円	200円	220円	240円

【A案】

累進度：2.18

基本料金	従量料金						
	0～10	11～20	21～50	51～100	101～500	500～1,000	1,001～
1,210円	0円	149円	176円	198円	220円	242円	264円



5 新たな使用料体系の検討

■A案：現行料金表に平均改定率を乗じた体系

使用料比較（公共下水道）

水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,210円	+110円	10.0%
10m ³	1,100円	1,210円	+110円	10.0%
20m ³	2,450円	2,700円	+250円	10.2%
30m ³	4,050円	4,460円	+410円	10.1%
50m ³	7,250円	7,980円	+730円	10.1%
100m ³	16,250円	17,880円	+1,630円	10.0%
300m ³	56,250円	61,880円	+5,630円	10.0%
500m ³	96,250円	105,880円	+9,630円	10.0%
1,000m ³	206,250円	226,880円	+20,630円	10.0%
2,000m ³	446,250円	490,880円	+44,630円	10.0%

使用料比較（地域下水処理）

水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,210円	+110円	10.0%
10m ³	1,100円	1,210円	+110円	10.0%
20m ³	2,400円	2,700円	+300円	12.5%
30m ³	3,800円	4,460円	+660円	17.4%
50m ³	6,600円	7,980円	+1,380円	20.9%
100m ³	14,100円	17,880円	+3,780円	26.8%
300m ³	46,100円	61,880円	+15,780円	34.2%
500m ³	78,100円	105,880円	+27,780円	35.6%
1,000m ³	163,100円	226,880円	+63,780円	39.1%
2,000m ³	343,100円	490,880円	+147,780円	43.1%

5 新たな使用料体系の検討

■A案：まとめ

- ・一律の改定率となるが、使用量が増えるほど負担（増加額）は大きい。

ヒートマップ（公共下水道）

使用水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,210円	110円	10%
10m ³	1,100円	1,210円	110円	10%
20m ³	2,450円	2,700円	250円	10%
30m ³	4,050円	4,460円	410円	10%
40m ³	5,650円	6,220円	570円	10%
50m ³	7,250円	7,980円	730円	10%
60m ³	9,050円	9,960円	910円	10%
70m ³	10,850円	11,940円	1,090円	10%
80m ³	12,650円	13,920円	1,270円	10%
90m ³	14,450円	15,900円	1,450円	10%
100m ³	16,250円	17,880円	1,630円	10%
150m ³	26,250円	28,880円	2,630円	10%
200m ³	36,250円	39,880円	3,630円	10%
300m ³	56,250円	61,880円	5,630円	10%
500m ³	96,250円	105,880円	9,630円	10%
1,000m ³	206,250円	226,880円	20,630円	10%
2,000m ³	446,250円	490,880円	44,630円	10%

ヒートマップ（地域下水処理）

使用水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,210円	110円	10%
10m ³	1,100円	1,210円	110円	10%
20m ³	2,400円	2,700円	300円	13%
30m ³	3,800円	4,460円	660円	17%
40m ³	5,200円	6,220円	1,020円	20%
50m ³	6,600円	7,980円	1,380円	21%
60m ³	8,100円	9,960円	1,860円	23%
70m ³	9,600円	11,940円	2,340円	24%
80m ³	11,100円	13,920円	2,820円	25%
90m ³	12,600円	15,900円	3,300円	26%
100m ³	14,100円	17,880円	3,780円	27%
150m ³	22,100円	28,880円	6,780円	31%
200m ³	30,100円	39,880円	9,780円	32%
300m ³	46,100円	61,880円	15,780円	34%
500m ³	78,100円	105,880円	27,780円	36%
1,000m ³	163,100円	226,880円	63,780円	39%
2,000m ³	343,100円	490,880円	147,780円	43%

5 新たな使用料体系の検討



■B案：少量使用者に配慮した体系

- ・ 基本水量を廃止，水量区分を新設，基本料金は算定基礎の数値を採用
- ・ 10 m³の改定率を平均改定率，20 m³以上の改定率が概ね一律になるよう調整

【下水道料金表（1か月・税抜）】

【現行料金表】

累進度：2.18

基本料金	従量料金							
	0～5	6～10	11～20	21～50	51～100	101～500	500～1,000	1,001～
1,100円	0円	0円	135円	160円	180円	200円	220円	240円

【B案】

累進度：2.20

基本料金は固定

基本料金	従量料金							
	0～5	6～10	11～20	21～50	51～100	101～500	500～1,000	1,001～
844円	36円	37円	150円	178円	201円	222円	245円	267円



5 新たな使用料体系の検討

■B案：少量使用者に配慮した体系

7 m³以内は現行よりも
安くなる

使用料比較（公共下水道）

水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,024円	▲76円	▲6.9%
10m ³	1,100円	1,209円	+109円	9.9%
20m ³	2,450円	2,709円	+259円	10.6%
30m ³	4,050円	4,489円	+439円	10.8%
50m ³	7,250円	8,049円	+799円	11.0%
100m ³	16,250円	18,099円	+1,849円	11.4%
300m ³	56,250円	62,499円	+6,249円	11.1%
500m ³	96,250円	106,899円	+10,649円	11.1%
1,000m ³	206,250円	229,399円	+23,149円	11.2%
2,000m ³	446,250円	496,399円	+50,149円	11.2%

20m³以上は一律約11%
になるよう調整

使用料比較（地域下水処理）

水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,024円	▲76円	▲6.9%
10m ³	1,100円	1,209円	+109円	9.9%
20m ³	2,400円	2,709円	+309円	12.9%
30m ³	3,800円	4,489円	+689円	18.1%
50m ³	6,600円	8,049円	+1,449円	22.0%
100m ³	14,100円	18,099円	+3,999円	28.4%
300m ³	46,100円	62,499円	+16,399円	35.6%
500m ³	78,100円	106,899円	+28,799円	36.9%
1,000m ³	163,100円	229,399円	+66,299円	40.6%
2,000m ³	343,100円	496,399円	+153,299円	44.7%

5 新たな使用料体系の検討

■B案：まとめ

- ・ 累進度は概ね維持（2.18⇒2.20）となり，算定基礎に比べ少量使用者の負担を抑えている。
- ・ 2 0 m³以上の改定率を概ね一定にしたため，使用量が増えるほど負担（増加額）は大きい。

ヒートマップ（公共下水道）

使用水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,024円	-76円	-7%
10m ³	1,100円	1,209円	109円	10%
20m ³	2,450円	2,709円	259円	11%
30m ³	4,050円	4,489円	439円	11%
40m ³	5,650円	6,269円	619円	11%
50m ³	7,250円	8,049円	799円	11%
60m ³	9,050円	10,059円	1,009円	11%
70m ³	10,850円	12,069円	1,219円	11%
80m ³	12,650円	14,079円	1,429円	11%
90m ³	14,450円	16,089円	1,639円	11%
100m ³	16,250円	18,099円	1,849円	11%
150m ³	26,250円	29,199円	2,949円	11%
200m ³	36,250円	40,299円	4,049円	11%
300m ³	56,250円	62,499円	6,249円	11%
500m ³	96,250円	106,899円	10,649円	11%
1,000m ³	206,250円	229,399円	23,149円	11%
2,000m ³	446,250円	496,399円	50,149円	11%

ヒートマップ（地域下水処理）

使用水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,024円	-76円	-7%
10m ³	1,100円	1,209円	109円	10%
20m ³	2,400円	2,709円	309円	13%
30m ³	3,800円	4,489円	689円	18%
40m ³	5,200円	6,269円	1,069円	21%
50m ³	6,600円	8,049円	1,449円	22%
60m ³	8,100円	10,059円	1,959円	24%
70m ³	9,600円	12,069円	2,469円	26%
80m ³	11,100円	14,079円	2,979円	27%
90m ³	12,600円	16,089円	3,489円	28%
100m ³	14,100円	18,099円	3,999円	28%
150m ³	22,100円	29,199円	7,099円	32%
200m ³	30,100円	40,299円	10,199円	34%
300m ³	46,100円	62,499円	16,399円	36%
500m ³	78,100円	106,899円	28,799円	37%
1,000m ³	163,100円	229,399円	66,299円	41%
2,000m ³	343,100円	496,399円	153,299円	45%

5 新たな使用料体系の検討

■C案：累進度を緩和した体系

- ・基本水量を廃止，水量区分を新設，基本料金は算定基礎の数値を採用
- ・10 m³の改定率を15 %以内，最大水量区分における平均水量（2,254 m³）の改定率が3 %以内になるよう設定

【下水道料金表（1か月・税抜）】

【現行料金表】

累進度：2.18

基本料金	従量料金							
	0～5	6～10	11～20	21～50	51～100	101～500	500～1,000	1,001～
1,100円	0円	0円	135円	160円	180円	200円	220円	240円

【C案】

累進度：1.92

基本料金	従量料金							
	0～5	6～10	11～20	21～50	51～100	101～500	500～1,000	1,001～
840円	41円	43円	152円	176円	197円	215円	227円	243円



5 新たな使用料体系の検討

■C案：累進度を緩和した体系

6 m³以内は現行よりも
安くなる

使用料比較（公共下水道）

水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m³	1,100円	1,045円	▲55円	▲5.0%
10m³	1,100円	1,260円	+160円	14.5%
20m³	2,450円	2,780円	+330円	13.5%
30m³	4,050円	4,540円	+490円	12.1%
50m³	7,250円	8,060円	+810円	11.2%
100m³	16,250円	17,910円	+1,660円	10.2%
300m³	56,250円	60,910円	+4,660円	8.3%
500m³	96,250円	103,910円	+7,660円	8.0%
1,000m³	206,250円	217,410円	+11,160円	5.4%
2,000m³	446,250円	460,410円	+14,160円	3.2%

段階的に改定率が下がる
よう調整

使用料比較（地域下水処理）

水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m³	1,100円	1,045円	▲55円	▲5.0%
10m³	1,100円	1,260円	+160円	14.5%
20m³	2,400円	2,780円	+380円	15.8%
30m³	3,800円	4,540円	+740円	19.5%
50m³	6,600円	8,060円	+1,460円	22.1%
100m³	14,100円	17,910円	+3,810円	27.0%
300m³	46,100円	60,910円	+14,810円	32.1%
500m³	78,100円	103,910円	+25,810円	33.0%
1,000m³	163,100円	217,410円	+54,310円	33.3%
2,000m³	343,100円	460,410円	+117,310円	34.2%

5 新たな使用料体系の検討

■C案：まとめ

- ・累進度は緩和（2.18⇒1.92）され，算定基礎に比べ少量使用者の負担を抑えている。
- ・段階的に改定率が下がるようにしたため，大口使用者の負担（増加額）は小さい。

ヒートマップ（公共下水道）

使用水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,045円	-55円	-5%
10m ³	1,100円	1,260円	160円	15%
20m ³	2,450円	2,780円	330円	13%
30m ³	4,050円	4,540円	490円	12%
40m ³	5,650円	6,300円	650円	12%
50m ³	7,250円	8,060円	810円	11%
60m ³	9,050円	10,030円	980円	11%
70m ³	10,850円	12,000円	1,150円	11%
80m ³	12,650円	13,970円	1,320円	10%
90m ³	14,450円	15,940円	1,490円	10%
100m ³	16,250円	17,910円	1,660円	10%
150m ³	26,250円	28,660円	2,410円	9%
200m ³	36,250円	39,410円	3,160円	9%
300m ³	56,250円	60,910円	4,660円	8%
500m ³	96,250円	103,910円	7,660円	8%
1,000m ³	206,250円	217,410円	11,160円	5%
2,000m ³	446,250円	460,410円	14,160円	3%

ヒートマップ（地域下水処理）

使用水量	現行使用料	改定案	差額	改定率
5m ³	1,100円	1,045円	-55円	-5%
10m ³	1,100円	1,260円	160円	15%
20m ³	2,400円	2,780円	380円	16%
30m ³	3,800円	4,540円	740円	19%
40m ³	5,200円	6,300円	1,100円	21%
50m ³	6,600円	8,060円	1,460円	22%
60m ³	8,100円	10,030円	1,930円	24%
70m ³	9,600円	12,000円	2,400円	25%
80m ³	11,100円	13,970円	2,870円	26%
90m ³	12,600円	15,940円	3,340円	27%
100m ³	14,100円	17,910円	3,810円	27%
150m ³	22,100円	28,660円	6,560円	30%
200m ³	30,100円	39,410円	9,310円	31%
300m ³	46,100円	60,910円	14,810円	32%
500m ³	78,100円	103,910円	25,810円	33%
1,000m ³	163,100円	217,410円	54,310円	33%
2,000m ³	343,100円	460,410円	117,310円	34%

5 新たな使用料体系の検討

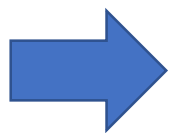
■使用料体系のまとめ

項 目		現 行	A 案	B 案	C 案
体系案の概要		—	現行料金表に平均改定率を乗じた体系	少量使用者に配慮した案	累進度を緩和した案
基本水量		10m ³	10m ³	なし	なし
累進度		2.18	不変 (2.18)	概ね維持 (2.20)	緩和 (1.92)
水量区分ごとの比較	10m ³ /月	1,100円	1,210円 (+110円)	1,209円 (+109円)	1,260円 (+160円)
	20m ³ /月	2,450円	2,700円 (+250円)	2,709円 (+259円)	2,780円 (+330円)
	200m ³ /月	36,250円	39,880円 (+3,630円)	40,299円 (+4,049円)	39,410円 (+3,160円)
	2,000m ³ /月	444,250円	490,880円 (+46,630円)	496,399円 (+52,149円)	460,410円 (+16,160円)
評 価		—	一定の改定率となるが、大口使用者の負担（額）が大きい	少量使用者の増加率を抑えているが、大口使用者の負担（額）が大きい	大口使用者の負担（改定率）は小さく、少量使用者の改定率が高いが、増加額は小さい

5 新たな使用料体系の検討

■地域下水処理の改定率について（補足）

- ・地域ごとに施設を更新していく場合、スケールメリットが働かないため、公共下水道よりも更新費用が割高となる。
- ・施設の老朽度や維持管理費の削減効果などを考慮し、全ての地区を公共下水道に切り替える予定である。
- ・水道や公共下水道のように、財政見通しを基に改定水準を検討しようとする場合、大幅な改定率になる見込みである。
- ・公共下水道に切り替えることにより、公共下水道の使用料体系になる。



公共下水道の使用料体系に統一することで、財政見通しに基づく改定よりも改定率を抑制できる。

新たな使用料体系案

- ・基本水量については，使用水量分の使用料の適正な負担という観点から，廃止する
- ・累進度については，水道の口径別料金のように，使用する水量に応じた使用料とするため，緩和する
 - ⇒ 使用者への影響を勘案し，C案により使用料改定（9.9%）を行う。